

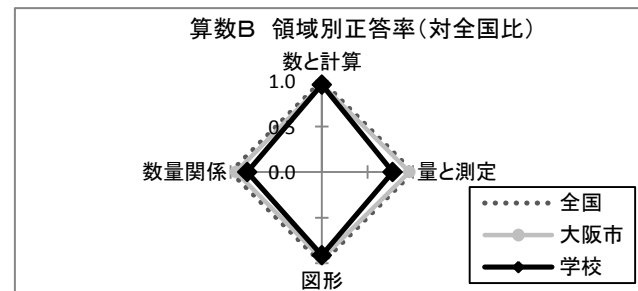
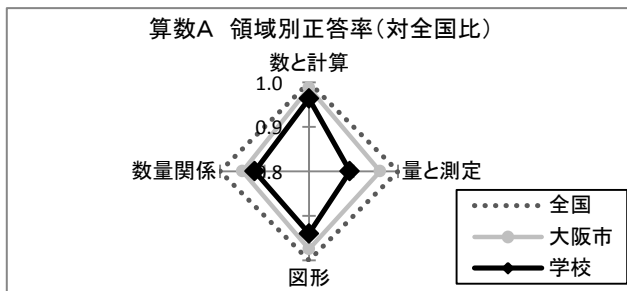
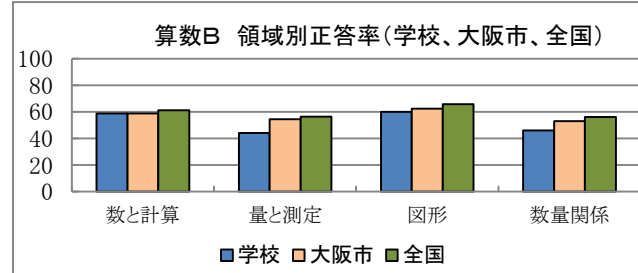
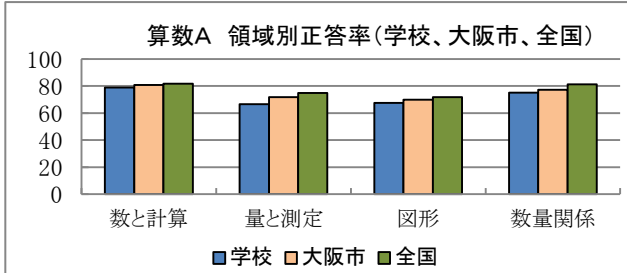
【算数】

結果の概要

A問題の平均正答率は、78.8%である。全国平均よりも、「数と計算」は3p、「量と測定」は8.1p、「図形」は4.3p、「数量関係」は6.3p下回った。
B問題の平均正答率は、52.3%である。全国平均よりも、「数と計算」は2.5p、「量と測定」は12.5p、「図形」は5.7p、「数量関係」は10.2p下回った。

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	78.8	80.8	81.8
	量と測定	3	66.7	71.8	74.8
	図形	4	67.5	70.0	71.8
	数量関係	3	75.0	77.2	81.3

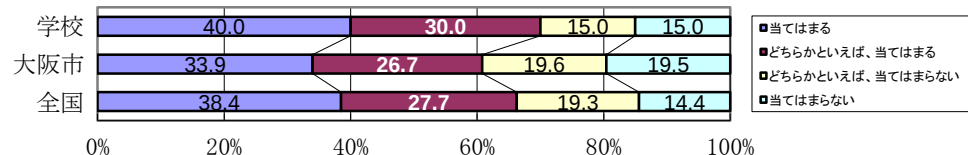
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	58.8	58.9	61.3
	量と測定	5	44.0	54.4	56.5
	図形	1	60.0	62.5	65.7
	数量関係	5	46.0	52.9	56.2



算数に関する「児童質問紙」

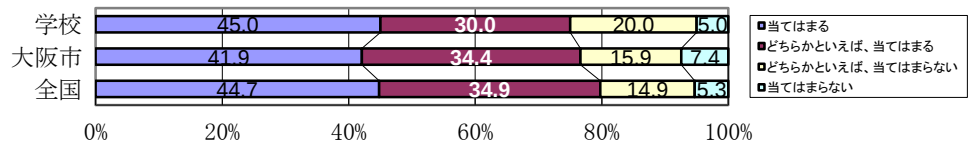
62

算数の勉強は好きですか



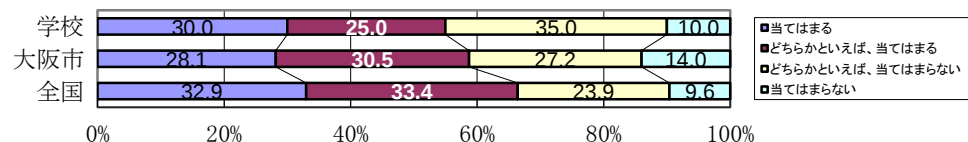
64

算数の授業の内容はよく分かりますか



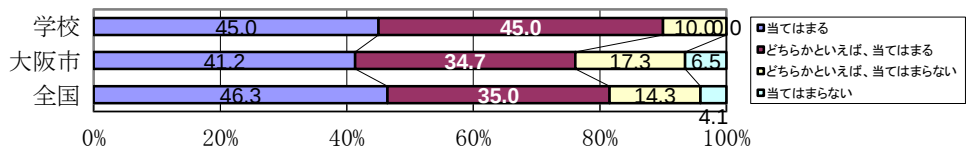
67

算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



70

算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



成果と課題

A・Bとも「数と計算」の基礎的・基本的な知識・技能の定着には一定の成果が見えているが、Bの「量と測定」「数量関係」には大きな課題がある。数や図形などの関係やきまりを見つけたり、いろいろな解き方やわけを考えて説明したりすることに努力が必要である。また、実生活における事象との関連を図った授業を意図的に取り入れていく必要がある。

今後の取組

- ① 課題解決に向け、考えを互いに伝え合う等、話し合い活動を取り入れた授業を展開する。
- ② 学習したことを、日常生活に活用する力を育む。
- ③ 「学習教材データ配信」等を活用し、計算練習等を継続して行う。
- ④ 習熟度別少人数授業を通して、一人一人の習熟の程度に合った指導を進める。